

# 株式会社キッツ

## 1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：株式会社キッツ
- (2) 所属部会：関東金属機械部会第2分科会
- (3) 資 本 金：21,207百万円
- (4) 事業内容：流体制御機器（バルブ・システム機器等）の製造・販売
- (5) 企業理念：

キッツは、「創造的かつ質の高い商品・サービスで企業価値の持続的な向上を目指します。」この企業理念を掲げ、キッツは企業価値の向上を目指しています。キッツでは、「企業価値」とは中長期的な株主価値であると考えており、これを向上させていくためには、お客様の信頼を得ることによって、利益ある成長を持続していかなければならないと考えています。

そして、企業価値を向上させることにより、株主の皆様をはじめとして、お客様、社員、ビジネスパートナー、社会に対してさまざまな形で寄与し、ゆたかな社会づくりに貢献していきたいと考えています。

- (6) CIマーク：



## 2. 知的財産部門の概要

### (1) 組織上の位置及び名称

法務・知的財産の担当役員のもと知的財産部があります。

### (2) 構成及び人員

知的財産部は総勢4名であり、本社に3名、

工場に1名の部員を配しています。

各部員は、主として技術の組織毎の縦割りで担当し、発明の発掘、調査、出願並びに知的財産関係の交渉を含めた契約などの業務を行っています。

### (3) 沿革

従来、開発部門下の一部門でしたが、業務範囲の拡大とコンプライアンスの社会ニーズにも即して、開発部門から独立し法務部門との連携を図りながら、知的財産管理を遂行することを意図し、今日の知的財産部に至っています。

## 3. わが社の知的財産活動

### (1) 基本方針

企業価値の最大化という企業目的のもと、収益を拡大する「攻め」の面と、事業活動をする上で生じるリスクを未然に防止する「守り」の面を密接に連携させる知財管理が不可欠と考えています。

そのために、当社のみならず広く使っていただける質の高い技術創作の権利化を図ると共に、ライセンスを積極的に推進し、収益の拡大と訴訟等のリスク回避を図っています。

### (2) 特許戦略

当社は、特許をできうる限り他社に広く開放するポリシーを持っています。製品によってその時期は変わることがあってもオープンライセンスで臨むようにしています。この考え方は特許ポートフォリオの構築にも反映しますので、出願と契約は一つのポリシーのもとで行われます。各部員が予め将来の契約を想定しながら発明の発掘や出願を行うことは特徴的であると言

えます。以下、戦略に係わる諸活動について説明します。

### (3) 出願活動

製品に展開される技術に重きを置いています。例えば、発明の発掘では、定例的に開催する会議体を設け、発明者、知的財産部門、特許事務所の先生が同席し自由な形で発明の抽出を協議し出願の原型を作っています。

また、中間処理の段階でも同じように会議体の中で製品を前に三者で協議しながら権利内容の修正や分割出願などを行っています。

これにより、登録率や実施化率（自他社が実施している数／登録数）が年々高まってきており、特許ポートフォリオの構築には良い結果がでてきています。

### (4) ライセンス活動

基本的に、オープンライセンスを志向しています。出願活動によって創出された特許は独占という形よりも、広く有償公開しながら合わせて当社もライセンスを受けることで、開発部門の新規開発の自由度を上げ（他社の特許回避をせずとも良い）技術的に製品の優位性を高めるべく活動しています。

### (5) 職務発明の取り扱い

出願時に行う報償と登録後の実施状況に応じ

て行う報償の二本立てになっています。登録後に行う報償は利益発生時に毎年行うもので、自社製品での実施と他社の実施をそれぞれ評価しています。特に、他社の実施は、ライセンスした場合のロイヤルティをベースに一定料率で算定しますので、ライセンスによる当社の収益に応じて発明者の相当の対価も拡大する体系になっています。

### (6) ブランドの保護

キッツグループのブランドを守るために、海外で商標取得を積極的に進めています。

また、主要国での監視調査を行って、悪意の第三者によるキッツグループ商標の権利化阻止を行うと共に、ブランドの悪用や無断使用への法的対応を行っています。

## 4. 今後の取り組み

長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」に合わせ、主要国での第一国出願も視野に入れた知的財産管理のグローバル化を目指しているところです。また、同時にグローバル化を進めるために、長期的視野をもって人材育成を図っていきたいと思います。

（原稿受領日 2014年9月17日）